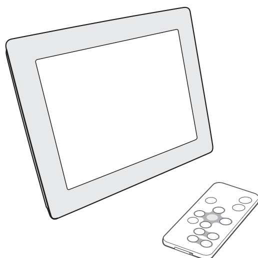
FUJIFILM

DIGITAL PHOTO FRAME

DP-7V

使用説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この説明書には、デジタルフォトフレームの使い方がまとめられています。
内容をご理解の上、正しくご使用ください。





はじめに

お使いになる前に

次の手順に従って準備してください

1 箱の中の付属品がすべてそろっているかを確認してください（下記）。



2 デジタルフォトフレームを安全に使用されるために、
「お取り扱いにご注意ください」（→ 27 ページ）をお読みください。

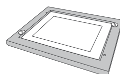


3 本書をよくお読みの上、デジタルフォトフレームをお使いください。

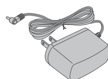
■本体 1 台および付属品一覧



デジタルフォトフレーム本体



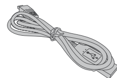
取り外し式ウッドフレーム（1 個）



AC アダプター（1 式）



リモコン（1 個）
（リモコン用電池はあらかじめリモコンにセットされています。）



USB ケーブル（1 本）

- **使用説明書／保証書（本書 1 部）**
- **ユーザーガイド（1 部）**

本書について

この使用説明書の以下のページを開くと、お探しの情報が簡単に見つかるようになっています。

この製品を使ってやりたいことがあっても、どの機能を使えばいいか分からないときにご覧ください。

主な機能が使用説明書のどこに記載されているかを知りたいときにご覧ください。目次を見ると、使用説明書全体の流れがつかめます。

この製品の動作がおかしいとき、画像が正しく表示されないなどの原因と対処法を紹介しています。

液晶画面に表示される警告の意味と原因を紹介しています。

この製品に関する専門用語を解説しています

使用可能なメモリーカードについて
この製品では、SD メモリーカード、MMC メモリーカード、xD- ピクチャーカード、メモリースティックがお使いになれます。本書では、これらのカードを「メモリーカード」と表記します。
詳しくは「メモリーカードについて」（→ 33 ページ）をご覧ください。

本書での説明について

リモコン操作を基本に説明しています。
本体／リモコンで同じ名称のボタンは同じ働きをします。

本書で使われている記号について

注意：この製品を使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。

チェック：実際に操作するときに確認していただきたいことを記載しています。

メモ：使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

液晶画面のイラストについて

本書では、液晶画面の表示を簡略化して記載しています。実際の画面と文字などの表示が一部異なることがあります。

こんな時に使いたい機能一覧

したいことや知りたいことから、使える機能の説明が記載されているページを探せます。

■デジタルフォトフレームの設定、操作について

こんなことがしたい、知りたい	キーワード	ページ
本体／リモコンのボタンの名前を知りたい。	各部の名称	P.7
デジタルフォトフレームを縦置きで使いたい。	画像の縦横判別	P.24
メモリーカード、USB ストレージデバイスのファイルを内蔵メモリーにコピーしたい。	画像を内蔵メモリーにコピーするには	P.19
	音楽ファイルを内蔵メモリーにコピーするには	P.21
	動画ファイルを内蔵メモリーにコピーするには	P.22
内蔵メモリーのファイルを消去したい。	画像を内蔵メモリーから消去するには	P.19
	音楽ファイルを内蔵メモリーから消去するには	P.21
	動画ファイルを内蔵メモリーから消去するには	P.23
液晶画面の明るさを変えたい。	画面明るさ調整ダイヤル	P.7
音楽を聴きたい。	音楽を聴く	P.20
動画を見たい。	動画を見る	P.22
デジタルフォトフレームの時計を合わせたい。	時計を設定する	P.16
変更した設定項目を初期値に戻したい。	各種設定項目の初期化 ...	P.25
内蔵メモリーの全データを消去したい。	内蔵メモリーの全消去 ...	P.25
パソコンのファイルを内蔵メモリーにコピーしたい。	パソコンと USB で接続する	P.26
液晶画面に表示される警告表示の意味を知りたい。	警告表示	P.32

■画像の再生、表示について

こんなことがしたい、知りたい	キーワード	ページ
お気に入りの画像を 1 枚だけ表示したい。	画像を表示する（1 枚表示）	P.18
画像のスライドショーを見たい。	画像を表示する（スライドショー）	P.17
表示中の画像の詳しい情報を知りたい。	詳細情報表示	P.24
画像の特定部分を拡大して表示したい。	画像を拡大するには	P.18
拡大した画像の表示位置を調整したい。		P.18
拡大した画像を元のサイズに戻したい。		P.18
画像を回転して表示したい。	画像を回転するには	P.18
カレンダーや時計だけを表示したい。	カレンダー・時計を表示する	P.20
スライドショーの表示間隔、エフェクト、再生順などを変えたい。	スライドショー設定 ...	P.24
予約した時刻に自動的に電源が入り、スライドショーなど画像の表示が始まるようにしたい。	タイマーを設定する	P.25
予約した時刻に自動的に電源が切れるようにしたい。		

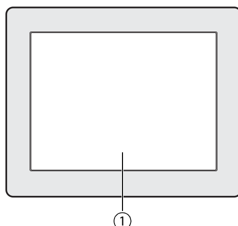
目次

各部の名称

使い方や説明については、名称の右側に記載されているページをご覧ください。

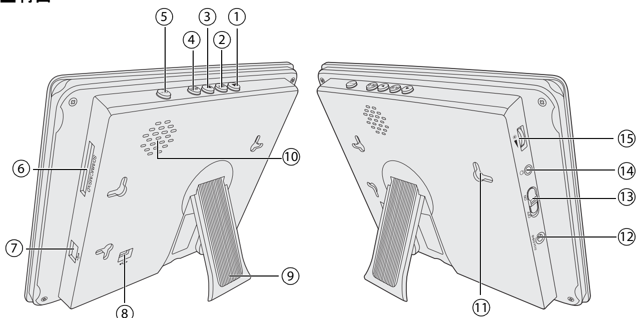
デジタルフォトフレーム本体

■前面



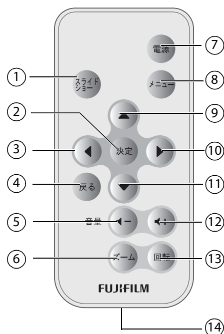
1	液晶画面 / リモコン受光部.........	P.9

■背面



1	◀ ボタン	
2	決定ボタン	
3	▶ ボタン	
4	戻るボタン	
5	メニューボタン	
6	SD/MMC メモリーカード／xD- ピクチャーカード／メモリースティックスロット ..	P.33
7	USB A 端子...............	P.26
8	mini USB B 端子...........	P.26
9	スタンド	P.12
10	スピーカー	
11	壁掛け用穴	
12	電源入力端子	P.14
13	電源スイッチ	P.14
14	イヤホン端子	
15	画面明るさ調整ダイヤル	

リモコン



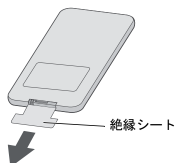
1	スライドショーボタン	8	メニューボタン
2	決定ボタン	9	▲ ボタン
3	◀ ボタン	10	▶ ボタン
4	戻るボタン	11	▼ ボタン
5	音量 - ボタン	12	音量＋ボタン
6	ズームボタン	13	回転ボタン
7	電源ボタン	14	電池ホルダー



使用するための準備

リモコンを準備する

本機のリモコンには、あらかじめ電池がセットされています。
絶縁シートを引き抜いてお使いください。

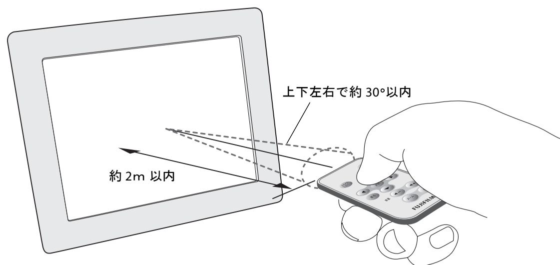


チェック

- リモコンにセットされている電池は、お試し用の電池です。リモコンが正しく動作しなくなったときは、電池を交換してください。電池の交換手順については、「リモコンの電池を交換するときは」(→ 10 ページ)をご覧ください。

リモコンを使用するときは

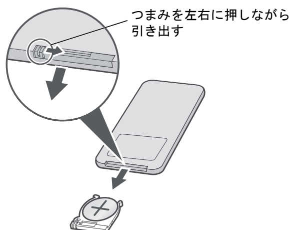
リモコンを液晶画面に向けて操作してください。



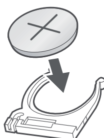
リモコンの電池を交換するときは

使っているうちにリモコンが正しく動作しなくなったら、市販されている新しい電池（品番CR2025）に交換してください。

1 リモコンを裏返し、電池ホルダーを引き出します。

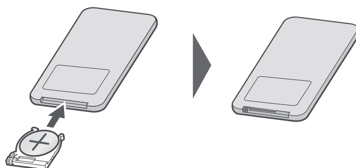


2 古い電池を取り出し、新しい電池の＋マークが上になるようにして電池ホルダーに入れます。



注意
• 電池の裏面と表面を間違えないように電池ホルダーに入れてください。

3 電池ホルダーをリモコンに差し込みます。

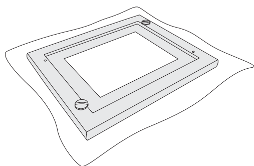


チェック
• 「カチッ」となるまで差し込んでください。

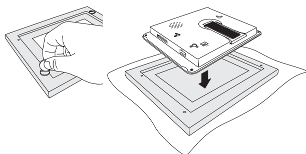
ウッドフレームを取り付ける

付属のウッドフレームを取り付けます。

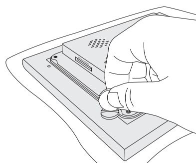
1. 平らな面にやわらかい布などをひいて、ウッドフレームの正面を下にして置きます。
   ウッドフレームの表面を傷つけないように丁寧に扱ってください。



2. ウッドフレームの背面にある二つの丸ネジを取り外し、デジタルフォトフレームの液晶画面を下にしてウッドフレームの上に置きます。



3. 二つの丸ネジをウッドフレームのねじ穴に入れ、右に回してデジタルフォトフレームをウッドフレームに固定します。

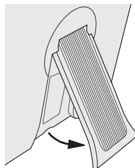


スタンドでデジタルフォトフレームを立てる

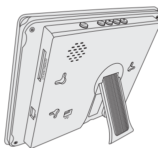
スタンドを調整してデジタルフォトフレームを立てます。

スタンドを立てる

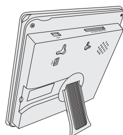
1 図のようにスタンドを引き出します。



2 図のように縦置きか横置きに合わせてスタンドを回転させます。

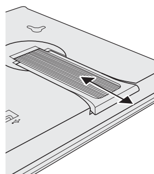


横置き



縦置き

3 画面の角度を調整する場合は、平らな面にデジタルフォトフレームの液晶画面を下にして置き、スタンドを閉じた状態で見やすい角度に合わせてスタンドの長さを調整してください。

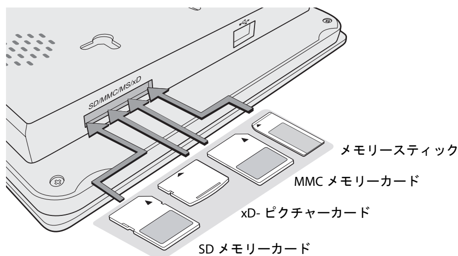


メモ

- デジタルフォトフレームは、縦置き／横置きのどちらでも立てられます。自動縦横判別センサーで縦置きか横置きかを自動で判別して正しい方向で画像を表示できます。
- 縦置きをした場合でも、メニュー画面（この製品の各種機能を選択する画面）は横向きで表示されます。
- 持ち運びするときは、スタンドを収納できます。
- 壁掛け穴を使ってデジタルフォトフレームを壁に掛けることもできます。

メモリーカードを入れる

メモリーカードの向きを図で確認し、カードスロットの奥まで確実にカチッとなるまで挿入します。



メモリーカード挿入時のご注意

- 斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。
- メモリーカードのデータは、パソコンなどで必ずバックアップを取ってから使用してください。

使用できるメモリーカードの種類について

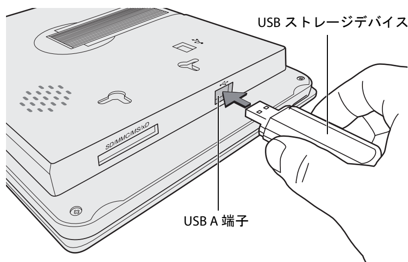
- 詳しくは「メモリーカードについて」（→ 33 ページ）をご覧ください。

表示できる画像のファイル形式について

- JPEG（Exif 規格に対応）と BMP 形式の画像ファイルを表示できます。それ以外のファイルや、パソコンで加工したファイルは、表示できない場合があります。

USB ストレージデバイスを接続する

USB ストレージデバイス（USB フラッシュメモリー等）をデジタルフォトフレームに接続することもできます。USB ストレージデバイスの USB プラグの向きを確認し、デジタルフォトフレームの USB A 端子の奥まで確実に差し込んでください。

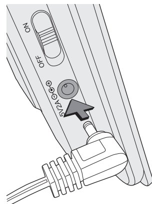


チェック

- 市販されているすべての USB ストレージデバイスの動作を保証するものではありません。
- デジタルフォトフレームを USB ハブに接続しないでください。

電源をつなぐ

AC アダプター（付属）を取り付けます。



注意

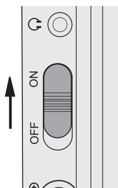
• AC アダプターは、必ず付属の製品をご使用ください。

電源をオンにする／オフにする

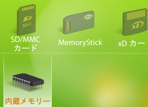
電源をオンにする

電源スイッチを ON の位置にスライドさせます。

液晶画面にスタートアップ画面が表示された後で､「メモリーカード選択」画面が表示されます。



メモリーカード選択



メモリーカードまたはUSBストレージデバイスが挿入されている場合は「自動コピーしますか？」というメッセージが表示されます。メモリーカードまたは USB ストレージデバイスから全ての画像ファイルを内蔵メモリーにコピーしたい場合は､「**決定**」ボタンを押してください。「コピー中です」と表示が出て､コピーが終了すると自動的にメモリー選択の画面に戻ります。

コピーしない場合は「**戻る**」ボタンを押してください。

自動コピーしますか？

チェック

• コピーを中止したい場合は「**戻る**」ボタンを押してください。

注意

• ファイルをコピー中は、メモリーカードや USB ストレージデバイスを取り出したり、デジタルフォトフレームの電源を切ったりしないでください。

電源をオフにする

電源をオフにする場合は、電源スイッチを OFF の位置にスライドさせます。また、本体の電源スイッチをオンにした状態で、リモコンの電源ボタンを押すことで液晶画面のバックライトを消してデジタルフォトフレームを待機状態にすることができます。

チェック

• デジタルフォトフレームの電源が、タイマー機能（→ 25 ページ）によって OFF になっているとき、デジタルフォトフレーム本体またはリモコンの任意のボタンを押すと一時的に電源を ON にできます。その後、10 秒間何も操作しなかった場合、再び自動的に電源が OFF になります。

モード選択画面について

「メモリーカード選択」画面で ◀、▶ を押して見たい画像やファイルが入ったメモリー（メモリーカード、内蔵メモリーまたは USB ストレージデバイス）を選択し、「**決定**」ボタンを押します。

メモリカードまたは USB ストレージデバイスは、それぞれが挿入されている場合だけ利用可能になり、選択できるようになります。
メモリーを選択すると「モード選択」画面が表示されます。



「モード選択」画面は、この製品の各種機能を選択するメインメニューです。

「写真」「音楽」「動画」「カレンダー」「設定」の 5 つの項目が選択できます。項目の選択は、本体またはリモコンのカーソル（◀/▶/▲/▼）ボタンと「**決定**」ボタンを押します。

時計を設定する

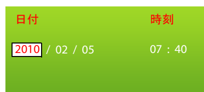
日付時刻を設定することで、カレンダー・時計表示、タイマーなどが正しく動作します。

1 「メモリーカード選択」画面で「**決定**」ボタンを押して、「モード選択」画面を表示します。

2 ▲、▼ で「**設定**」を選び、「**決定**」ボタンを押します。

3 ▲、▼ で「**時計の設定 ...**」を選び、「**決定**」ボタンを押します。

4 設定する項目（年、月、日、時、分）を ◀、▶ で選択し、▲、▼ で変更します。本体の「**メニュー**」を押して変更することもできます。設定が完了したら「**決定**」ボタンを押します。



5 「**戻る**」ボタンを押すと「設定」画面に戻り、もう一度押すと「モード選択」画面に戻ります。

時刻を表示するには

- 「設定」メニューの「時計の表示」で **ON** を選択すると、写真の再生時に現在時刻が表示されます。（→ 24 ページ）

チェック

- デジタルフォトフレームの画面背景色は季節にあわせて自動的に変更されます。（1 ～ 3 月 : イエロー、4 ～ 6 月 : グリーン、7 ～ 9 月 : ブルー、10 ～ 12 月 : ホワイト）
- AC アダプターを長時間抜いたままにしておくと、日時設定はリセットされます。

画像を表示する（スライドショー）

選択したメモリー（メモリーカード、USB ストレージデバイスもしくは内蔵メモリー）の画像をスライドショーで見ることができます。

スライドショーのはじめかた

1 「メモリーカード選択」画面で ◀、▶ を押して見たい画像が入ったメモリー（メモリーカード、内蔵メモリーまたは USB ストレージデバイス）を選択し、「**決定**」ボタンを押します。
メモリカードまたは USB ストレージデバイスは、それぞれ挿入されている場合だけ利用可能になり、選択することができます。

2 「モード選択」画面が表示され、◀、▶ で「**写真**」を選択し、「**決定**」ボタンを押します。インデックス画面にメモリー内の画像が表示されます。



3 ◀、▶ または ▲、▼ で画像を選択し、「**決定**」ボタンを押します。1 枚表示画面が表示され、「**決定**」ボタンを押すとスライドショーが始まります。
リモコンの「**スライドショー**」ボタンを押してスライドショーをすることもできます。

4 「**戻る**」ボタンを押すとスライドショーからインデックス画面に戻ります。

チェック
• メモリーに音楽ファイルが保存してある場合はスライドショーの BGM として再生されます。
• スライドショーの設定（BGM、切替間隔の設定、エフェクトの設定、再生順の設定）については、「設定」（→ 24 ページ）を参照してください。
• エフェクトはフェード、シャッター、クロス、マスク、ブリック、ランダムの 6 種類から選択できます。
• BGM は「音楽」モードで選択できます。

画像を表示する（1 枚表示）

デジタルフォトフレームでお気に入りの 1 枚だけを表示することができます。また、画像を拡大し、表示位置を調整することもできます。

1. 「メモリーカード選択」画面で ◀、▶ を押して見たい画像が入ったメモリー（メモリーカード、内蔵メモリーまたは USB ストレージデバイス）を選択し、「**決定**」ボタンを押します。
   メモリカードまたは USB ストレージデバイスは、それぞれ挿入されている場合だけ利用可能になり、選択することができます。

2. 「モード選択」画面が表示され、◀、▶ で「**写真**」を選択し、「**決定**」ボタンを押します。インデックス画面にメモリー内の画像が表示されます。

3. ◀、▶ または ▲、▼ で画像を選択し、「**決定**」ボタンを押します。1 枚表示画面が表示され、▶ を押すと次の画像へ進み、◀ を押すとひとつ前の画像に戻ります。



4. 「**戻る**」ボタンを押すとインデックス画面に戻ります。

メモ

- 本体の画面明るさ調整ダイヤルで液晶画面の明るさを調整することができます。
- インデックス画面の右上に表示されている数字（1/15 など）は、（インデックス画面番号 / インデックス画面総数）を表します。例えば、1/15 が表示されているときは、インデックス画面が 15 画面あり、その 1 番目のインデックス画面が選択されていることを表しています。

画像を拡大するには

リモコンの「**ズーム**」ボタンを押すと、画像を拡大します。画像サイズに応じて最大 4 段階まで拡大することができます。

必要に応じて ▲、▼、◀、▶ で表示位置を調整します。

「**戻る**」ボタンを押すと拡大表示を終了します。

画像を回転するには

リモコンの「**回転**」ボタンを押します。１回押すごとに、画像が時計回り（右回り）に９０°ずつ回転します。

メモ

- 画像を回転させても、スライドショーでは回転させた向きで画像が表示されません。
- 画像の向き（縦表示、横表示）はデジタルフォトフレームに記録されません。
- 画像の拡大表示をしているときは、画像の回転はできません。

画像を内蔵メモリーにコピーするには

メモリーカードや USB ストレージデバイスの画像を、デジタルフォトフレームの内蔵メモリーにコピーできます。

1 「メモリーカード選択」画面で ◀、▶ を押して見たい画像が入ったメモリー（メモリーカードまたは USB ストレージデバイス）を選択し、「**決定**」ボタンを押します。

メモリカードまたは USB ストレージデバイスは、それぞれ挿入されている場合だけ利用可能になり、選択することができます。

2 「モード選択」画面が表示され、◀、▶ で「**写真**」を選択し、「**決定**」ボタンを押します。インデックス画面にメモリー内の画像が表示されます。

3 ◀、▶ または ▲、▼ で画像を選択し、「**メニュー**」ボタンを押すと、「このファイルをコピーしますか？」というメッセージが表示されます。

4 「**決定**」ボタンを押すと、内蔵メモリーにコピーされます。



チェック
- 「設定」メニューの「画像コピーの設定」で、画像を内蔵メモリーにコピーする時に自動的に画面の解像度にあわせて画像サイズを小さくしてコピーする「スマートコピー」か、そのままの状態でコピーする「オリジナルコピー」を選択することができます。
- 「スマートコピー」を設定した場合、内蔵メモリーに約 4,000 枚の画像をコピーすることができます。「オリジナルコピー」を設定した場合に内蔵メモリーにコピーできる枚数は元の画像サイズによって異なります。

注意
- コピー中は、電源を切ったり、メモリーカードを取り出したりしないでください。機器やメモリーカード、画像ファイルが破損する恐れがあります。

画像を内蔵メモリーから消去するには

内蔵メモリーの画像を消去することができます。

1 「メモリーカード選択」画面で ◀、▶ を押して「**内蔵メモリー**」を選択し、「**決定**」ボタンを押します。

2 「モード選択」画面が表示され、◀、▶ で「**写真**」を選択し、「**決定**」ボタンを押します。インデックス画面に内蔵メモリー内の画像が表示されます。

3 ◀、▶ または ▲、▼ で画像を選択し、「**メニュー**」ボタンを押すと、「このファイルを消去しますか？」というメッセージが表示されます。

4 「**決定**」ボタンを押すと、画像が消去されます。



注意
- 消去した画像は、元に戻せません。

画像を見る

カレンダー・時計を表示する

スライドショー付カレンダーを表示することができます。

1 「メモリーカード選択」画面で ◀ 、▶ を押して見たい画像が入ったメモリー（メモリーカード、内蔵メモリーまたは USB ストレージデバイス）を選択し、「**決定**」ボタンを押します。
メモリカードまたは USB ストレージデバイスは、それぞれ挿入されている場合だけ利用可能になり、選択することができます。

2 「モード選択」画面が表示され、◀ 、▶ で「**カレンダー**」を選択し、「**決定**」ボタンを押します。スライドショー付きカレンダーが表示されます。



3 「**戻る**」ボタンを押すと「モード選択」画面に戻ります。

チェック

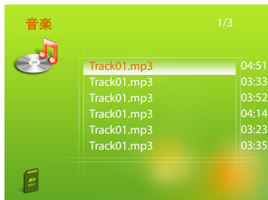
- カレンダーや時計を表示する前に、必ず日付と時刻を設定してください。日付と時刻の設定については、「時計を設定する」（→ 16 ページ）をご覧ください。
- アラームが設定されると、カレンダー画面の左下にアラームの時間とアイコンが表示されます。「アラームを設定する」（→ 25 ページ）をご覧ください。

音楽を聴く

内蔵メモリー、USB ストレージデバイスまたはメモリーカードの MP3（.mp3）音楽ファイルを再生することができます。

1 「メモリーカード選択」画面で ◀ 、▶ を押して再生したい MP3（.mp3）音楽ファイルが入ったメモリー（メモリーカード、内蔵メモリーまたは USB ストレージデバイス）を選択し、「**決定**」ボタンを押します。
メモリカードまたは USB ストレージデバイスは、それぞれ挿入されている場合だけ利用可能になり、選択することができます。

2 「モード選択」画面が表示され、◀ 、▶ で「**音楽**」を選択し、「**決定**」ボタンを押します。メモリー内の MP3（.mp3）音楽ファイルのリストが表示されます。



3 ▲、▼ で MP3（.mp3）音楽ファイルを選択し、「**決定**」ボタンを押すと、再生されます。

メモ

• デジタルフォトフレームのイヤホン端子にイヤホンを接続すると、イヤホンで音楽を聴くことができます。
• イヤホンは付属しておりません。

MP3（.mp3）音楽ファイルの再生中は次の操作が可能です。

操作	説明
一時停止 / 再生	「**決定**」ボタンを押すと、再生を一時停止し、もう一度押すと再生をはじめます。
音量調整	リモコンの音量「＋」「－」ボタンを押して音量調整できます。
スキップ	◀ でひとつ前の曲に、▶ で次の曲に移ります。
再生終了	「**戻る**」ボタンを押すと再生を停止します。もう一度押すと「音楽」画面に戻ります

音楽ファイルを内蔵メモリーにコピーするには

メモリーカードまたは USB ストレージデバイスの MP3（.mp3）音楽ファイルをデジタルフォトフレームの内蔵メモリーにコピーすることができます。

1. 「メモリーカード選択」画面で ◀ 、▶ を押してコピーしたい MP3（.mp3）音楽ファイルが入ったメモリー（メモリーカードまたは USB ストレージデバイス）を選択し、「**決定**」ボタンを押します。

   メモリカードまたは USB ストレージデバイスは、それぞれ挿入されている場合だけ利用可能になり、選択することができます。

2. 「モード選択」画面が表示され、◀ 、▶ で「**音楽**」を選択し、「**決定**」ボタンを押します。メモリー内の MP3（.mp3）音楽ファイルのリストが表示されます。

3. ▲、▼ で MP3（.mp3）音楽ファイルを選択し、「**メニュー**」ボタンを押すと、「このファイルをコピーしますか？」というメッセージが表示されます。

4. 「**決定**」ボタンを押すと、内蔵メモリーにコピーされます。

音楽ファイルを内蔵メモリーから消去するには

内蔵メモリーの MP3（.mp3）音楽ファイルを消去することができます。

1. 「メモリーカード選択」画面で ◀ 、▶ を押して「 **内蔵メモリー**」を選択し、「**決定**」ボタンを押します。

2. 「モード選択」画面が表示され、◀ 、▶ で「**音楽**」を選択し、「**決定**」ボタンを押します。内蔵メモリー内の MP3（.mp3）音楽ファイルのリストが表示されます。

3. ▲、▼ で MP3（.mp3）音楽ファイルを選択し、「**メニュー**」ボタンを押すと、「このファイルを消去しますか？」というメッセージが表示されます。

4. 「**決定**」ボタンを押すと、MP3（.mp3）音楽ファイルが消去されます。

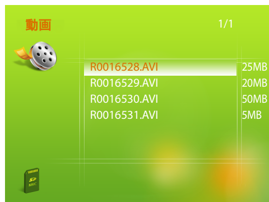
注意

• 消去した音楽ファイルは、元に戻せません。

動画を見る

内蔵メモリー、USB ストレージデバイスまたはメモリーカードの AVI（.avi）や MOV（.mov）形式の Motion-Jpeg 動画ファイルを再生することができます。

1. 「メモリーカード選択」画面で ◀、▶ を押して見たい動画ファイルが入ったメモリー（メモリーカード、内蔵メモリーまたは USB ストレージデバイス）を選択し、「**決定**」ボタンを押します。
   メモリカードまたは USB ストレージデバイスは、それぞれ挿入されている場合だけ利用可能になり、選択することができます。
2. 「モード選択」画面が表示され、◀、▶ で「**動画**」を選択し、「**決定**」ボタンを押します。メモリー内の動画ファイルのリストが表示されます。
3. ▲、▼ で動画ファイルを選択し、「**決定**」ボタンを押すと再生されます。



メモ

- 動画は、横置き方向でのみ表示可能です。

動画ファイルの再生中は次の操作が可能です。

操作	説明
一時停止 / 再生	「**決定**」ボタンを押すと、再生を一時停止し、もう一度押すと再生をはじめます。
音量調整	リモコンの音量「＋」「－」ボタンを押して音量調整できます。
スキップ	◀ でひとつ前の動画ファイルに、▶ で次の動画ファイルに移ります。
再生終了	「**戻る**」ボタンを押すと再生を終了して「動画」画面に戻ります

動画ファイルを内蔵メモリーにコピーするには

表示しているメモリーカードまたは USB ストレージデバイスの動画ファイルをデジタルフォトフレームの内蔵メモリーにコピーすることができます。

1. 「メモリーカード選択」画面で ◀、▶ を押してコピーしたい動画ファイルが入ったメモリー（メモリーカードまたは USB ストレージデバイス）を選択し、「**決定**」ボタンを押します。
   メモリカードまたは USB ストレージデバイスは、それぞれ挿入されている場合だけ利用可能になり、選択することができます。
2. 「モード選択」画面が表示され、◀、▶ で「**動画**」を選択し、「**決定**」ボタンを押します。メモリー内の動画ファイルのリストが表示されます。
3. ▲、▼ で動画ファイルを選択し、「**メニュー**」ボタンを押すと、「このファイルをコピーしますか？」というメッセージが表示されます。
4. 「**決定**」ボタンを押すと、内蔵メモリーにコピーされます。

動画ファイルを内蔵メモリーから消去するには

内蔵メモリーの動画ファイルを消去することができます。

1. 「メモリーカード選択」画面で ◀、▶ を押して内蔵メモリーを選択し、「**決定**」ボタンを押します。
2. 「モード選択」画面が表示され、◀、▶ で「**動画**」を選択し、「**決定**」ボタンを押します。内蔵メモリー内の動画ファイルのリストが表示されます。
3. ▲、▼ で動画ファイルを選択し、「**メニュー**」ボタンを押すと、「このファイルを消去しますか？」というメッセージが表示されます。
4. 「**決定**」ボタンを押すと、動画ファイルが消去されます。

注意

- 消去した動画ファイルは、元に戻せません。

設定

デジタルフォトフレームのさまざまな設定を変更できます。

1 「メモリーカード選択」画面で ◀ 、▶ を押していずれかのメモリーを選択し、「**決定**」ボタンを押します。

2 「モード選択」画面が表示され、◀ 、▶ で「**設定**」を選択し、「**決定**」ボタンを押します。



3 ▲、▼ で設定する項目を選択し、「**決定**」ボタンを押すと、選んだ項目の設定画面が表示されます。設定を変更します。

4 「**戻る**」ボタンを押すと「設定」画面に戻ります。

設定メニュー一覧

設定アイテム		説明	工場出荷時 ● 初期値
画面表示		画像を画面中央にあわせて、余白がなくなるまで拡大して表示する全画面表示か、画像を画面の高さにあわせて表示する画面全体表示を選択できます。	画面全体表示
詳細情報表示		インデックス画面で画像の情報を表示するかを選択できます。	ON
時計の表示		画像表示中に時計を表示するかを設定します。	ON
画像の縦横判別		画像ファイルの情報から画像の縦または横方向を読み取り、自動的に画像を正しい方向に表示するかを選択できます。	ON
画像コピーの設定		画像を内蔵メモリーにコピーをする時に自動的に画面の解像度にあわせて画像サイズを小さくしてコピーする「スマートコピー」か、そのままの状態でコピーする「オリジナルコピー」を選択することができます。	スマートコピー
時計の設定 ...		日付と時刻を設定します。（→ 16 ページ）	——
アラームの設定 ...		アラームを設定します。（→ 25 ページ）	——
タイマーの設定 ...		自動電源 ON/OFF タイマーを設定します。（→ 25 ページ）	——
スライドショー設定 ...	**BGM**	スライドショー表示中に、BGM を再生するかを選択します。	ON
	切替間隔の設定	スライドショーで各画像を切替える時間間隔を設定します。	5 秒
	エフェクトの設定	スライドショーで各画像を切替える際のエフェクトを選択します。	なし
	再生順の設定	スライドショーで各画像を表示する順番を設定します。	新しい順
システムの設定 ...	**言語**	メニューの言語を選択します。	日本語

	自動コピー	メモリーカードまたはUSBメモリーデバイスを挿入した時に自動コピーするかを設定します。	ON
	各種設定項目の初期化 ...	変更した設定の値がすべて工場出荷時の状態に戻ります。	——
	内蔵メモリーの全消去 ...	内蔵メモリーに保存したデータがすべて消去されます。	——

注意

• 内蔵メモリーの全消去を実行すると、この製品に保存した画像はすべて消去されます。誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。

アラームを設定する

アラームの設定手順は次の通りです。

メモ

• アラームとタイマーを設定する前に時計を設定しましょう。「時計を設定する」（→ 16 ページ）をご覧ください。

1. 「**設定**」画面で ▲、▼ を押して「**アラームの設定 ...**」を選択し、▲、▼ でアラーム音のタイプを設定します。本体の「**メニュー**」を押して変更することもできます。
2. ◀、▶ で「**設定**」を選択し、▲、▼ で**毎日**、**一回のみ**または **OFF** を設定します。本体の「**メニュー**」を押して変更することもできます。
3. ◀、▶ で設定する項目（時、分）を選択し、▲、▼ で設定します。本体の「**メニュー**」を押して変更することもできます。設定が完了したら「**決定**」ボタンを押すと、設定が保存され、「**設定**」画面に戻ります。



メモ

• アラームを解除するには、デジタルフォトフレーム本体またはリモコンのいずれかのボタン（電源ボタンを除く）を押してください。

タイマーを設定する

タイマーを設定することで、省エネルギーに配慮した使い方ができます。例えば、午前 7 時に ON タイマーで電源をオンにして、午後 9 時に OFF タイマーで電源をオフにします。そうすれば、使用しない時間は、電源が入っていないので、電気代を節約できます。

1. 「**設定**」画面で ▲、▼ を押して「**タイマーの設定 ...**」を選択し、▲、▼ で「**自動電源 ON/OFF**」を選んで「**決定**」ボタンを押します。▲、▼ で **ON** か **OFF** かを設定し、「**決定**」ボタンを押します。
2. ▲、▼ で「**使用日**」を選択し「**決定**」ボタンを押します。▲、▼ で**平日**（平日のみ電源オンになります）、**毎日**（毎日電源オンになります）、または**休日**（週末のみ電源オンになります）のいずれかを選択し、「**決定**」ボタンを押します。
3. ▲、▼ で「**時間設定 ...**」を選択し「**決定**」ボタンを押します。◀、▶ でオンとオフの時刻を選択し、▲、▼ で設定します。本体の「**メニュー**」を押して変更することもできます。
4. 設定が完了したら「**決定**」ボタンを押すと、設定が保存され、「**設定**」画面に戻ります。



チェック

• 内蔵メモリーに画像データがある時は、自動電源 ON/OFF 機能で電源がオンになると自動的にスライドショーが始まります。

いろいろな機能を使う

パソコンと USB で接続する

デジタルフォトフレームの内蔵メモリーの画像をパソコンで見たり、画像のやりとり（コピー）ができます。

対応するパソコンの動作環境について

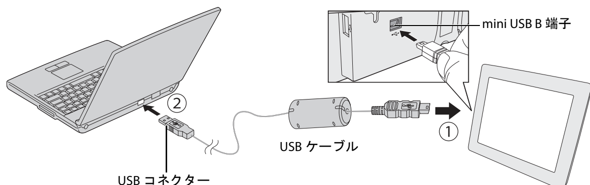
OS	Windows Vista（SP1 以上）32bit 版 Windows XP HomeEdition（SP2 以上）32bit 版 Windows XP Professional（SP2 以上）32bit 版 Windows 2000（SP4 以上）32bit 版 Windows 7 32bit 版	• 左記の OS がプレインストールされたモデル • 自作パソコンや OS をアップグレードしたパソコンは動作保証外です。
端子	USB ポートは、パソコン本体標準の USB ポートをご使用ください。	パソコン本体標準以外の USB ポートは、動作保障外です。

パソコンと接続して画像をやりとりする

チェック

• USB ケーブルは、プラグの向きを確認し、端子の奥まで確実に差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由せずに、直接パソコンと接続してください。

1 デジタルフォトフレームをパソコンと接続します。



注意

• USB コネクターの向きはパソコンによって異なります。パソコンの取扱説明書などで確認してください。

2 デジタルフォトフレームの電源を入れます。

3 パソコンの画面に「自動再生」ウィンドウが表示されたら、「フォルダを開いてファイルを表示」をクリックします。「自動再生」ウィンドウが表示されないときは、「マイコンピュータ」からリムーバブルディスクを選んで開きます。

4 画像のコピーなどを終了したら、「ハードウェアの安全な取り外し」の操作をして、接続を外します。

注意

• デジタルフォトフレームに挿入されているメモリーカードや USB ストレージデバイス内のファイルは、USB 接続を通じて表示したり編集したりすることはできません。
• 通信中は、USB ケーブルを抜かないでください。画像ファイルが破損する恐れがあります。
• 内蔵メモリーをパソコンなどの他の機器を使って初期化（フォーマット）しないでください。

メモ

• USB で接続できるのはパソコンだけです。デジタルカメラなど他の機器は接続できません。
• パソコンとの接続中は、デジタルフォトフレーム側の操作はできません。デジタルフォトフレームを操作するときは、パソコンとの接続を外してください。
• 初めてパソコンと接続するときは、パソコンでの認識に時間がかかることがあります。



お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。

・ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
・お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。	
	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。	
	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警　告


電源プラグを抜く

異常が起きたら電源を切り、電池や AC アダプターを外す。
煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
・お買上げ店にご相談ください。


水ぬれ禁止

内部に水や異物を落とさない。
水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池や AC アダプターを外す。
そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。
・お買上げ店にご相談ください。


風呂、シャワー室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しない。
火災・感電の原因になります。


分解禁止

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。落としたり、ケースが破損したときは使用しない。
火災・感電の原因になります。
・お買上げ店にご相談ください。



接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。
コードに傷がついて、火災感電の原因になります。
・コードに傷がついた場合は、お買上げ店にご相談ください。



不安定な場所に置かない。
バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。



雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。
落雷すると誘電雷により感電の原因になります。



指定外の方法で電池を使用しない。
極性 (⊕⊖) 表示どおりに入れてください。



電池を分解、加工、加熱しない。
電池を落としたり、衝撃を加えない。
電池をショートさせない。
電池を金属製品と一緒に保管しない。
電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。



指定外の電池や AC アダプターを使用しない。
表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。
火災の原因になります。



液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。



電池は、乳幼児に触れさせないこと。
電池は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



メモリーカードは、乳幼児に触れさせないこと。
メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



注　意



油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。
火災・感電の原因になることがあります。



異常な高温になる場所に置かない。
窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。
火災の原因になることがあります。



小さいお子様の手の届くところに置かない。
けがの原因になることがあります。



本機の上に重いものを置かない。
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。



AC アダプターを接続したまま移動しない。AC アダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。
電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。



電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
火災・感電の原因になることがあります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。



本機やACアダプターを布や布団でおおったりしない。
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



液晶画面は、傷が付きやすいので、先のとがったもの（シャープペンシル、ボールペンなど）で液晶画面をたたいたり、ひっかいたりしない



お手入れの際や長時間使用しないときは、電池や AC アダプターを外し、電源プラグを抜く。
火災・感電の原因になることがあります。



メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。
飛び出したカードが当たり、けがの原因になることがあります。

電源についてのご注意
※ご使用になる電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池を上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池の寿命が短くなるばかりか、液もれ、発熱・発火の恐れがあります。

危険ですので、次のことにご注意ください


火気に近づけたり、火中に投げ込んだりしないでください。


分解したり、改造したりしないでください。

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、使用していると、本体が熱を帯びますが、故障ではありません。

■ AC アダプターについてのご注意
必ず付属の AC アダプター（JEITA 規格、極性統一形プラグ付き) をお使いください。付属品以外の AC アダプターをお使いになると故障する原因となることがあります。
- 室内専用です。
- 電源入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- AC アダプターは、本製品以外には使用しないでください。
- 電源入力端子から接続コードを抜くときは、本機の電源を切って、プラグを持って抜いてください (コードを引っ張らないでください)。
- 使用中、AC アダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発信音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

ソフトウェアに関するご注意

■使用説明書について
使用説明書はパーソナルコンピュータ (以下パソコンといいます) と Windows の使用方法に関する基本的な知識をお持ちになっていることを前提として書かれています。
パソコンと Windows の使用方法については、それぞれに付属のマニュアルをご覧ください。

お使いになる前のご注意

ご使用になる前に必ず「安全上のご注意」をお読みください。

■著作権についてのご注意
著作権の目的となっている画像やファイル転送及び表示は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■液晶について
液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。
- 皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■商標について
xD-Picture Card 、xD- ピクチャーカードは富士フィルム (株) の商標です。
Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
SDHC ロゴは商標です。
- SD メモリーカードはパナソニック株式会社、米国サンディスク社、株式会社東芝の商標です。
- miniSDmicroSD は SD アソシエーションの商標です。
- マルチメディアカードは独 Infineon Technologies AG 社の登録商標です。
- メモリースティック、メモリースティック Duo、メモリースティックマイクロ、メモリースティック PRO、メモリースティック PRO Duo、メモリースティック PRO-HGDuo はソニー株式会社の商標です。
- 著作権表示

FlashFX is a registered trademark of Datalight, Inc.
FlashFX Copyright 1998-2008 Datalight, Inc.
U.S.Patent Office 5,860,082/6,260,156
FlashFX Pro is a trademark of Datalight,Inc.
Datalight is a registered trademark of Datalight,Inc.
Copyright 1989-2008 Datalight, Inc., All Rights Reserved
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意
- 本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。
- 本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

使用上のご注意

■避けて欲しい保存場所
次のような場所での本機の使用・保管は避けてください。
- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い電磁場の発生するところ (放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど)
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■冠水、浸水、砂かぶりにご注意
水や砂は本機の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本機を置かないでください。水や砂が本機の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露 (つゆつき) にご注意
本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内外部に水滴がつくこと (結露) があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは
本機を長時間お使いにならないときは、電池またはメモリーカードを取り外して保管してください。

■本機のお手入れ
- 液晶モニター表面などの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。
- 液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- 本機の本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。
- シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。

メモリーカード / 内蔵メモリーについてのご注意

■メモリーカード取扱上のご注意
- メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- メモリーカードを本機に入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- メモリーカードの記録中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になると本機の故障の原因になります。
- 強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードを本機に入れると、本機が誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■内蔵メモリーについて
- 内蔵メモリー内の画像は、本機の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。大切なファイルは、メモリーカードや別のメディア (ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など) にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。
- 内蔵メモリーをパソコンなどの他の機器を使って初期化（フォーマット）しないでください。
- 修理にお出しになった場合、内蔵メモリー内のデータについては保証できません。
- 本機の修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

トラブルシューティング／ FAQ

デジタルフォトフレームの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

■電源

症状	ここをチェック！	処置	ページ
電源が入りません。	ACアダプターは正しく接続されていますか？	正しく接続してください。	P.14
使用中に電源が切れました。	デジタルフォトフレームが待機状態になっていませんか？	リモコンの**電源**ボタンを押してください。	P.14
	タイマーを使用していませんか？	タイマーの設定を OFF にしてください。	P.25

■画像の表示

症状	ここをチェック！	処置	ページ
画像が表示されません。	メモリーカードは正しく挿入されていますか？	挿入の向きなどを確認して正しく挿入してください。	P.13
	内蔵メモリーやメモリーカードに画像は保存されていますか？	デジタルカメラやパソコンでメモリーカード内に画像が保存されているかを確認した後に、再度、メモリーカードに画像を保存してください。	——
	画像は、この製品で表示できるファイル形式ですか？	JPEG か BMP 形式の画像ファイルを使用してください。	——
	画像をパソコンで加工していませんか？	加工したファイルは、正しく表示されない場合があります。	——

■ファイルの管理

症状	ここをチェック！	処置	ページ
メモリーカードの画像を内蔵メモリーにコピーできません。	メモリーカードは正しく挿入されていますか？	挿入の向きなどを確認して正しく挿入してください。	P.13
	内蔵メモリーに十分な空きはありますか？	内蔵メモリーの残量を確認し、必要に応じて内蔵メモリーの画像を消去してください。	——
内蔵メモリーの画像をメモリーカードにコピーできません。	内蔵メモリーの画像やファイルは、メモリーカードや USB ストレージデバイスにコピーできません。	内蔵メモリーの画像やファイルは、USB 接続でパソコンにコピーできます。	P.26

■パソコンとの接続

症状	ここをチェック！	処置	ページ
パソコンと接続したが、この製品の内蔵メモリーが認識されません。	USB ケーブルは正しく接続されていますか？	正しく接続してください。	P.26
	パソコンは、必要な動作環境を満たしていますか？	対応するパソコンをお使いください。	P.26

■その他

症状	ここをチェック！	処置	ページ
操作しても動きません。	画像のコピーをしていませんか？	複数の画像のコピーをしていると動作しないことがありますが、故障ではありません。しばらくお待ちください。 もし、しばらく待っても動作しないときは、電源スイッチをオフにしてから AC アダプターを取り外し、もう一度接続して電源スイッチをオンにしてください。	——
リモコン操作しても動かなくなりました。	電池が消耗していませんか？	電池を交換してください。	P.10

警告表示

デジタルフォトフレームに表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処置
空き容量がありません	内蔵メモリーの空き容量が不足しています。	内蔵メモリーのファイルを整理して、空き容量を増やしてください。
デバイスエラー	対応していない形式のメモリーカードまたは USB ストレージデバイスです。	メモリーカードまたはUSBストレージデバイスをご確認ください。
再生できません	データが壊れている。または表示できない形式のファイルを使用していませんか？	ファイルの形式が対応している形式かどうかをご確認ください。
コピーできませんでした	データが壊れている。または表示できない形式のファイルを使用していませんか？	ファイルの形式が対応している形式かどうかをご確認ください。
システムエラー	デジタルフォトフレームが正しく動作していません。	電源スイッチをオフにして AC アダプターを取り外し、もう一度接続して電源スイッチをオンにしてください。

資料集

用語の解説

Exif:

デジタルカメラ用の画像ファイルの規格です。撮影した画像に次のような情報を記録することができます。

- 撮影日時
- 解像度
- 撮影方向

JPEG：

Joint Photographic Experts Group の略で、もとは画像圧縮の標準化を推進している組織の名称。そこで標準化したカラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。デジタルカメラやパソコン、携帯電話で見ることができます。

インデックス：

画像を探しやすいように、縮小表示した複数の画像を、一覧できる形で画面に表示する機能。

スライドショー：

複数の画像を一定時間毎に切り替え、連続して表示する機能。スライドショー中、ある画像から次の画像に切り替わるときの視覚効果を「エフェクト」などと呼びます。

メモリーカードについて

本機では、以下の市販のメモリーカードの動作を確認しています。

本書では、以下の xD- ピクチャーカード、SD メモリーカード、メモリースティックを総称して「メモリーカード」と表記しています。

xD- ピクチャーカード

xD- ピクチャーカード	2GB まで

SD メモリーカード

本書では、以下のものをまとめて「SD メモリーカード」と表記しています。

SD メモリーカード	2GB まで
miniSD カード※	2GB まで
microSD カード※	2GB まで
SDHC メモリーカード	32GB まで
miniSDHC カード※	4GB まで
microSDHC カード※	4GB まで
マルチメディアカード	4GB まで

※本機で使用するには、それぞれのカードに付属しているアダプター、または市販のカードアダプターが必要です。

メモリースティック

本書では、以下のものをまとめて「メモリースティック」と表記しています。

メモリースティック	128MB まで
メモリースティック Duo ※	128MB まで
メモリースティック マイクロ※	1GB まで
メモリースティック PRO	1GB まで
メモリースティック PRO Duo ※	16GB まで
メモリースティック PRO-HG Duo ※	8GB まで

※本機で使用するには、それぞれのカードに付属しているアダプター、または市販のカードアダプターが必要です。

注意

- 対応表の範囲内の、すべてのメモリカードの動作を保証するものではありません。
- 本機に挿入されたメモリカードを無理に抜き取ると、本機やメモリカードが破損することがあります。
- メモリカードを抜き取るときに、金属端子部分に手や金属を触れないでください。
- カードアダプターを使用して本機に取り付けたメモリカードを取り外すときは、カードアダプターごと完全に取り外してください。カードだけを取り外して、カードアダプターが本機に残していると、正しく動作しなくなることがあります。
- 画像表示中、メモリカードを取り外さないでください。データが消えたり、故障の原因になることがあります。

主な仕様

液晶	液晶タイプ	TFT 液晶
	液晶画面サイズ	7 型
	表示エリア	142 x 107 mm
	解像度	SVGA（横 800 ×縦 600）
	表示色	1,600 万色
	総ドット数	1,440,000 ドット（800 × 600 × RGB）
	アスペクト比	4：3
	視野角	左右 140°、上下 120°
	輝度	約 250cd/m^2
その他	最大再生画素数	6,400 万画素（最大 8,000 × 8,000 画素）
	内蔵メモリー	512MB
	最大表示画像数	9,999 枚
インターフェース	USB 端子（デバイス）	• USB 2.0（A タイプ） × 1 • miniUSB 2.0（B タイプ） × 1
	メモリーカードスロット	xD- ピクチャーカード／ SD メモリーカード／ MMC メモリーカード／メモリースティック
対応ファイル	• JPEG (.jpg) • BMP (.bmp) • MP3 (.mp3) • MOV (.mov, モーション JPEG) • AVI (.avi, モーション JPEG)	
電源	AC 100-240V ± 10%　50/60Hz（専用 AC アダプター）	
消費電力	最大 10W	
サイズ（約 mm）	幅 189 ×高さ 154 ×奥行き 27（フレームなし） 幅 238 ×高さ 203 ×奥行き 40（フレームあり）	
質量	約 334g（フレームなし） 約 676g（フレームあり）	

注意

- 仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 液晶画面は、非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01% 以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応メモリーカードなど記載している情報は、2009 年 9 月現在のものです。
- 視野角、輝度は液晶パネル単体での測定値です。



アフターサービスについて・保証書

保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■ 調子が悪い時はまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障か迷うときは、FinePix サポートセンターへお問い合わせください。
電話番号が裏表紙に記載されています。

■ 故障と思われるときは

富士フイルム修理サービスセンターまたは当社サービスステーションに修理をご依頼ください。富士フイルム修理サービスセンター、サービスステーションのご案内が裏表紙にあります。依頼方法は、次のページの中からお客様のご都合によりお選びください。

■ 修理ご依頼に際してのご注意

- 本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。
- 内蔵メモリー内の画像は、本機の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。
- 大切なファイルは別のメディア (ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など) にコピーして、バックアップしてください。修理に出すときには、内蔵メモリー内のデータは消してください。内部の基板交換等した場合、内蔵メモリー内のデータは保証できません。本機の修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

■ 修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後 8 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePix サポートセンター等のお問合せ先、富士フイルム修理サービスセンターあるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

修理の依頼方法は、下記の中からお客様のご都合に合わせてお選びください。

●富士フイルム修理サービスセンターへの送付修理

- ご依頼の際「修理依頼票」を記載の上修理依頼品に添付してください。
- 修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

●お買い上げ店への持込修理

- 修理料金及びその支払い方法については、お持ちいただいたお店にご確認ください。

修理依頼票

※予め 36 ページの「個人情報の取扱について」をご確認ください。

※本紙は拡大コピーしてお使いください。※下表の□は、該当する項目にチェック（✔）を入れてください。

フリガナ		電話番号	
お 名 前		FAX 番号	
ご 住 所	〒　　　－		
ボディ番号（機番） 保証書あるいは本体裏面に記載してある 8 桁の番号です。 修理お問合せ時にご連絡ください。	NO.		
修理品への添付	□保証書　・　□メモリーカード		
□（　　　）	□（　　　）		
□（　　　）	□（　　　）		
見積	□要（修理金額　　　円以上見積り）　・　□不要		
見積連絡方法	□電話　・　□ＦＡＸ		
故障症状（故障時の様子）			
ご購入時期	20　年　月		
修理履歴	□初回　・　□再依頼（□同一症状　・　□別症状）		
発生状況　発生頻度	□開始時のみ　・　□いつも　・　□時々（　日に　回）		
発生状況　動作モード	□再生時　・　□ショックを与えると		
発生状況　他機との接続	□無　・　□有（接続機　　）		
発生状況　使用電源			

Memo

FUJIFILM　富士フイルム株式会社

● 本製品に関するお問い合わせは…

※予め 36 ページの「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

富士フイルム FinePix サポートセンター

ナビダイヤル　0570-00-1060

市内通話料金でご利用いただけます

⇒呼び出し音の前に NTT より通話料金の目安をお知らせします。

携帯電話・PHS・IP 電話・NTT 以外の固定電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は

0228-35-1088

月曜日～金曜日　午前　9:00 ～午後 5:40
土曜日　午前 10:00 ～午後 5:00 日・祝日・年末年始を除く

FAX　0570-06-7555　受付時間：24 時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

● 本製品の関連情報は、下記のホームページをご覧ください。

http://fujifilm.jp/

● 修理の受付は…

※ 36 ページの「アフターサービスについて」をご覧ください。また、予め「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をこ確認ください。

■修理のご相談受付窓口　**富士フイルム修理サービスセンター**

ナビダイヤル　0570-00-0081

⇒呼び出し音の前に NTT より
通話料金の目安をお知らせします。

PHS・IP 電話・NTT 以外の固定電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は

0228-35-3586

月曜日～金曜日　午前　9:00 ～午後 5:40
土曜日　午前 10:00 ～午後 5:00 日・祝日・年末年始を除く

FAX　0570-06-0070　受付時間：24 時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

■修理品ご送付受付窓口　**富士フイルム修理サービスセンター**

〒 989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字 95-1 ／ TEL:0228-35-3586

■修理品お持ち込み窓口

全国 6 箇所のサービスステーション (東京・大阪・札幌・仙台・名古屋・福岡) でも修理をお受けします。

サービスステーションにつきましては、当社ホームページ http://fujifilm.jp/ をご確認ください。

● 本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日午前 9:30 ～午後 5:00）TELO3-5786-1712

Printed in China
P/N: 4J.11C01.001